

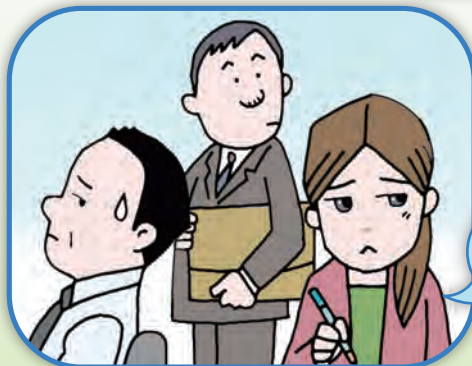
# こころの オルゴール vol.2



シトラスリボンに  
ねが  
こ  
願いを込めて



にん ちしやう  
認知症になっても  
ち いき みまも  
地域で見守りを



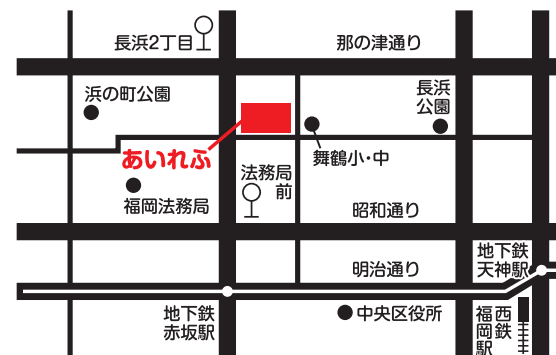
パワハラは  
しよくば ぜんたい もんだい  
職場全体の問題

ふくおか し じんけんけいはつ  
福岡市人権啓発センター

ふくおか し おく  
福岡市がお贈りする「こころのオルゴール」は、  
みなさんに人権を身近に考えてもらう5分間のラジオ番組です。  
れいわ ねんど ほうそう さくひん なか さくひん えら  
令和3年度に放送した作品の中から3作品を選び、  
そのシナリオをもとにまんが せいさく  
漫画を制作いたしました。  
きがる て と よ  
気軽に手に取って読んでいただければ幸いです。

「こころのオルゴール」のシナリオや音源はホームページで紹介しています。

こころのオルゴール



ふくおか し じんけんけいはつ  
福岡市人権啓発センター

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2丁目5番1号 あいれふ 8階  
TEL 092-717-1237 FAX 092-724-5162

令和4年3月発行

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

日本と世界を変えるための17の目標です。



# こころのオルゴール vol.2

シトラスリボンに願いを込めて



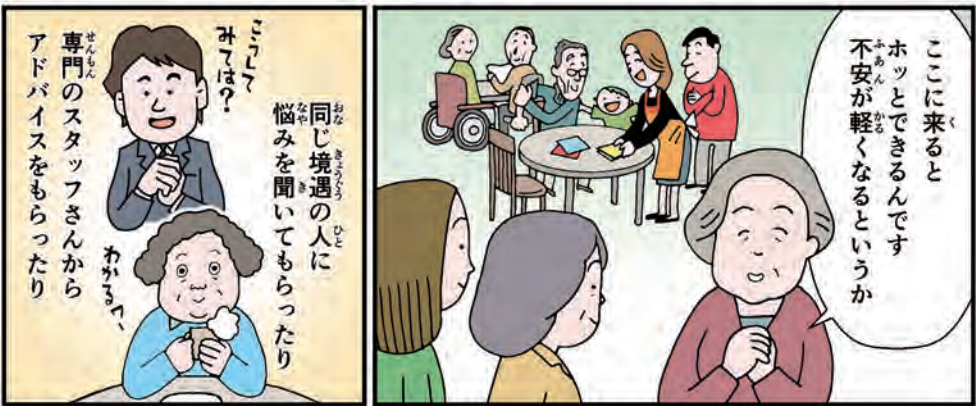
いまだに収束が見えない新型コロナウイルス  
 又感染症。感染した人が職場や学校などに復帰する時に、冷たい視線や心ない言葉で傷つけられていることが問題になっています。感染を理由に差別されたり、患者扱ひされたりすることはあってはならないことです。

シトラスリボンには、復帰した人が、それぞれの生活の場に安心して笑顔で戻っていただけるようにとの願いが込められています。そんな思いやりの輪を広げていきたいですね。



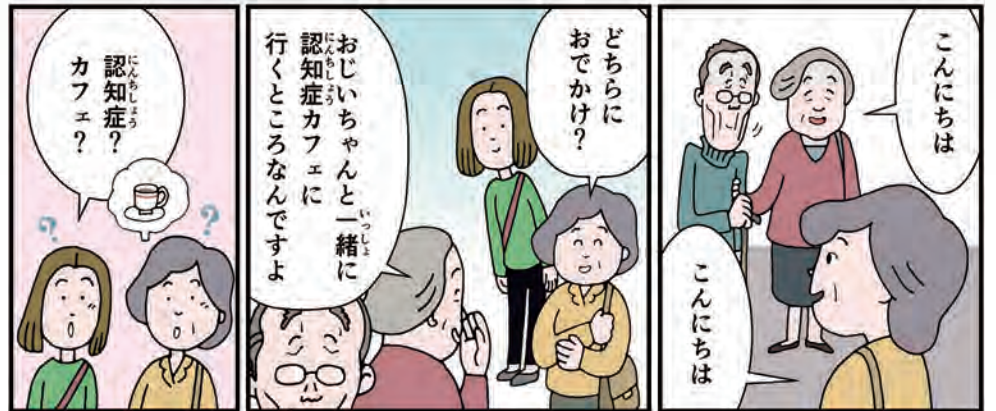
# このころのオールゴール vol.2

認知症になっても地域で見守りを



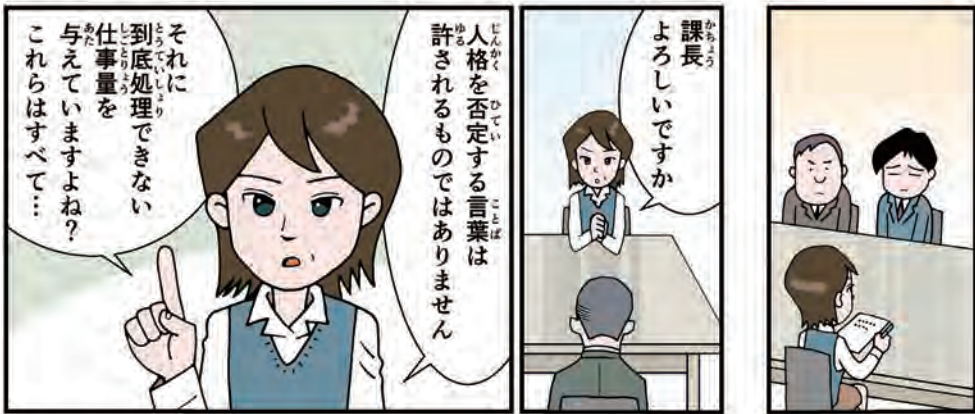
高齢化とともに、65歳以上の5人に1人が認知症になる時代を迎えています。

福岡市は、認知症にやさしいまちづくりに向けて「認知症フレンドリーシティプロジェクト」に取り組んでいます。「認知症カフェ」は、家族同士が情報交換をしたり、専門スタッフのアドバイスを受けたりして、認知症の人や家族が地域社会とつながる場となっています。認知症になっても、安心して暮らせるまちにしていきたいですね。



# ここらのオルゴール vol.2

パワハラは職場全体の問題



職場における「いじめ・嫌がらせ」などのパワーハラスメントはあとを絶ちません。令和元年には、いわゆる「パワハラ防止法」が成立し、会社には、相談に適切に対応するための体制づくりが義務付けられました。パワハラを見逃したり、見て見ぬふりをしたりした責任は会社にあるのです。同時に、孤立している人を出さないよう、日頃のコミュニケーションも大切です。

一人ひとりが働きやすい職場づくりをしていきましよう。

